

パオちゃん's EYE

2024年4月1日 発行 No.85

モンゴルの昆虫標本



フサヒゲルリカミキリ的一种アガパンティア・アムーレンシス（モンゴル産）。

4月20日～6月30日に開催する「倉敷市立自然史博物館秘蔵お宝展第2弾」では、たくさんの昆虫標本も並びます。玉野市の昆虫愛好家、吉田嘉男氏（故人）収集の昆虫標本は標本箱にして74箱におよびます。そのほとんどがチョウですが、1箱だけ甲虫類の標本があります。しかもなかなか目にする機会のないモンゴル産の標本です。派手ではないのですが、日本の中では北海道に生息する種に近縁なものがあったり、まったく見たことがない虫がいたり興味深い一箱です。

その中に鈍く青光りするカミキリムシの標本列がありました。体長は1.5cmほどで触角には特徴的な毛の束があります。日本では、国内希少野生動植物種に指定され、岡山県の蒜山地方にわずかな生息地が知られるのみとなったフサヒゲルリカミキリにそっくりです。調べてみるとモンゴル産は日本産とは同属別種のアガパンティア・アムーレンシス *Agapanthia amurensis* という種類のようなようです。おそらく生態も似ていて高原草地に生息するものだろうと思います。日本では変わりつつある高原特有の自然環境がモンゴルには残されているのではないかなと想像しています。

奥島雄一(昆虫担当)

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp



「パオちゃん's EYE」
は博物館ホームページでカラーで見られるよ!

